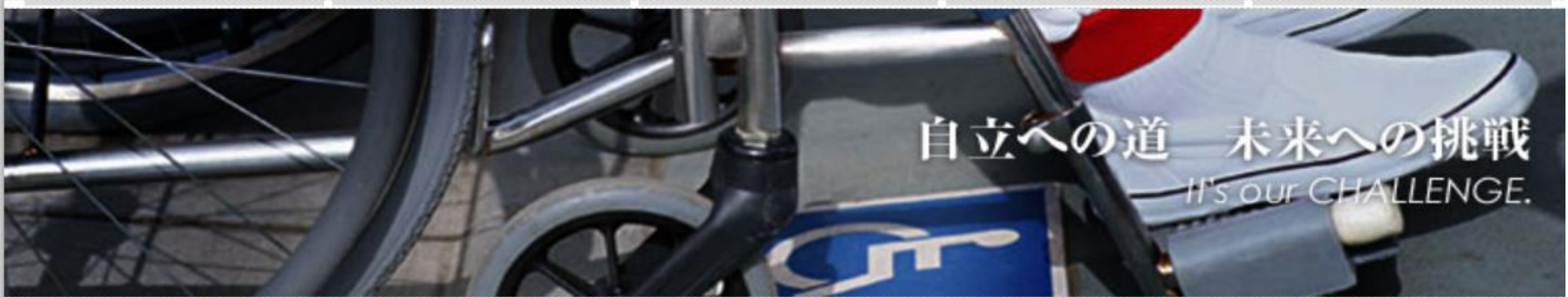


ICTを活用した テレワークのための教育 および就労支援

はたらくカタチは、ひとつじゃない。

社会福祉法人東京コロニー職能開発室 堀込真理子
平成31年2月12日
ICTアクセシビリティ確保部会



社会福祉法人東京コロニーは2019年現在、障害福祉サービス事業7ヶ所、グループホーム4ヶ所等の施設を経営、約520名の障害のある方に事業提供している。

●当法人のIT利用事業の成り立ち

1951年法人設立以来、一貫して一般雇用が難しい方々の職業リハや、就業の場の開拓を実施。

職能開発室の「**IT技術者在宅養成講座**」はその一つであり30年目を迎えている。

1. 職能開発室の概要

- 1980年代から、重い障害や疾病のある方の働き方の研究、支援をスタート
- 就労水準にあわせた情報処理技術の遠隔講座が特徴

30年間のこだわりは3つ

「飯の種としてのICTの技術獲得」

「支援機器の十分な活用」

「自分仕様の労働環境(在宅等)」→下の4事業を展開



在宅IT教育



在宅雇用支援



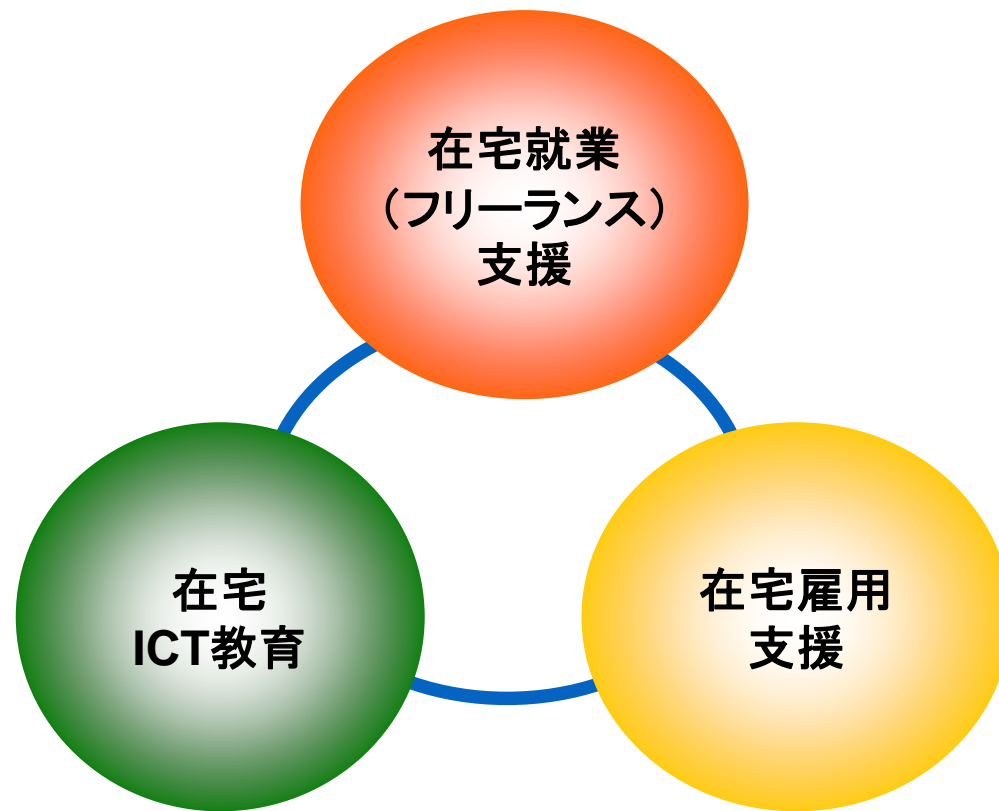
在宅就労支援



IT利用支援

● その結果

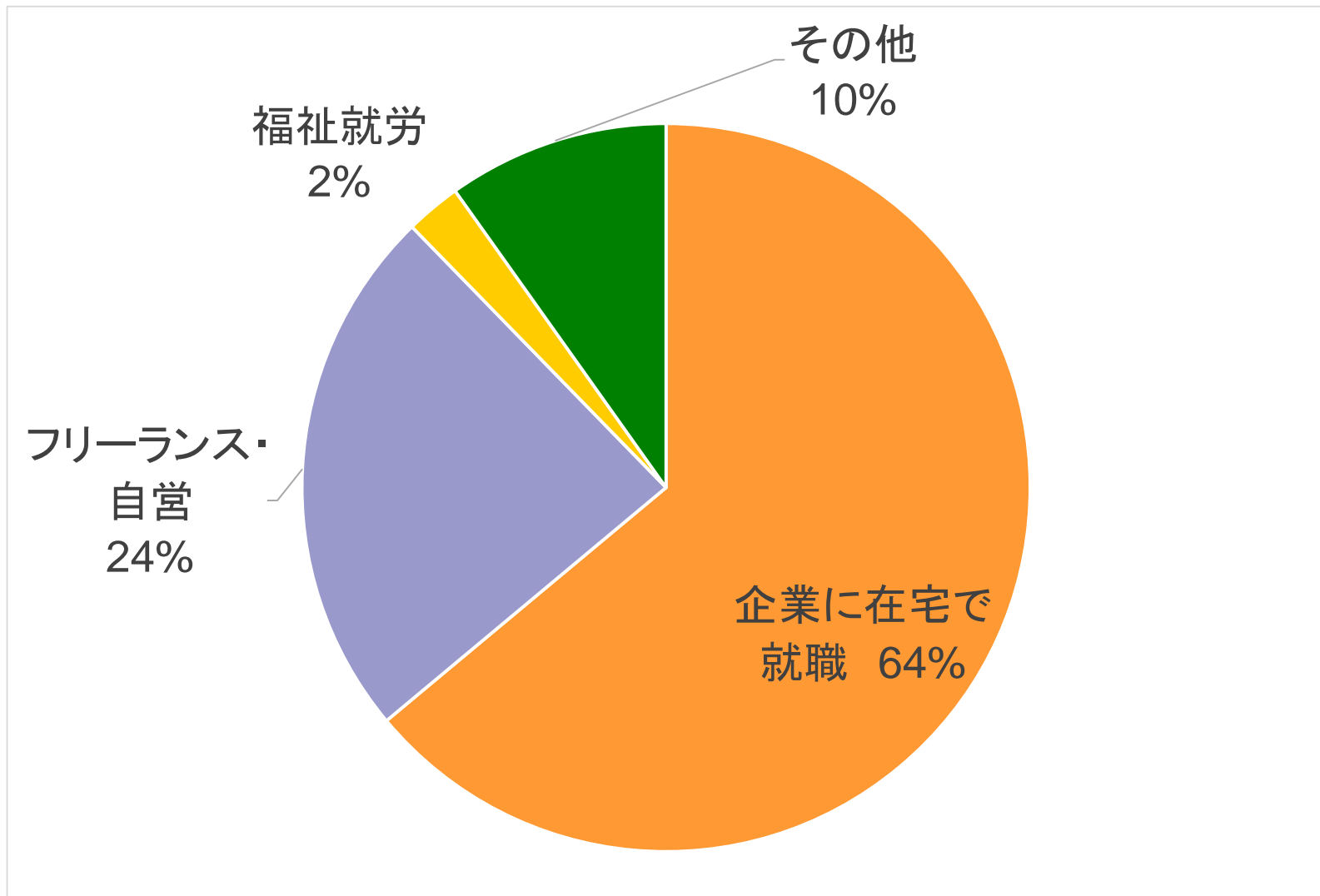
2018年、修了生150名のうち、6割が在宅雇用へ、
2割は在宅フリーランスへ（5割がITの国家資格取得）



IT支援機器 支援事業(東京都障害者IT地域支援センター)

●参考

講習修了生の進路状況



※2018年3月現在(講座修了150名)

2. 在宅で受講するICT教育

▼IT技術者在宅養成講座とは



- 2年間、毎日、メール、ネット掲示板で指導のやりとり
- 2週間に1回、講師が自宅を訪問
- 技術だけでなく、社会性、在宅で働くための力点について教育

集合スクーリングその他、企業訪問
情報処理試験(国家試験)の支援



社会福祉法人東京コロン 職能開発室
トコBOBS

講師メニュー

- 学習報告
- 質問コーナー
- 学習計画
- 予定表
- お知らせ
- 学習の手引き
- 課題
- 共有ファイル
- 参考書籍
- 役立つWebサイト
- プロフィール
- フォーラム
- トップページ
- ユーザ情報変更
- インフォメーション入力
- 今日は何の日入力
- フォーラムの変更

<学習報告詳細表示>

番号	タイトル	ID	ハンドル名	登録日時
28011	2019年02月06日の学習報告	toc0829	sho	2019-02-06 17:43:55

<学習報告>

本日の実績
 アルゴリズム課題の再提出
 明快入門C 1-2章

次回の予定
 アルゴリズム4章・明快入門（ビギナー含む）

感想・連絡・フリートーク
 アルゴリズム課題の条件式が自分がイメージ出来ていないようで苦戦しています。

軽く明快入門Cを読んでみましたが、まだ導入部分だったのか
 ざほど難しい内容ではなかったので2章まで読み進めました。
 スーパービギナーと合わせて久しぶりのC言語を思い出していきたいです。

レスポンス

[\[前に戻る\]](#)

ファイル メッセージ

迷惑メール・削除
 返信 全員の返信
 転送
 インスタントメッセージ
 カレンダーに追加
 メッセージの移動
 メッセージのコピー
 フラグ
 ウォッチ

削除 応答 アクション

RE: PHP課題1 質問

質問・課題用メールアドレス;

> PHP課題1のプログラムコードについて質問があります。
 >
 > ネットで調べてサンプルコードを見ても
 > php 配列を使用 방법이わからない状態です。
 > if文を使わないという使用方法もわからない状態です。

難しく考えすぎたかもしれませんね。

confirm.php の配列宣言は Okです。
 (数値添字配列の場合は、キーを省略しても構いません。
 0相対なので
 \$old = array('','10歳未満','10代','20代','30代','40代','50歳以上');
 これでも同じです。)

配列を使うときは
 \$配列名[添字] ですから
 添字は変数でも使えます。
 (\$old[] でもOK)

\$_POST[old] も、一つの変数ですから
 \$old[\$_POST[old]] とすれば \$_POST[old] をキーとした配列の値を取り出せます。

オリジナルの在宅教育用ツール

課題はメールを中心にやりとり

常時接続のテレビ会議や、SNSなども活用するが、基本的にはドキュメントとして残せる形で学習成果を積み上げていく。

テレワークロボットなど、遠隔で働くテクノロジーは進化しつづける。それだけに、そこには、より**人間的な職業訓練**が大事。数回の面談やネット教育だけではわからない個別の可能性は、模擬就労など厚いやりとりを重ねてこそ、精度の高い評価が可能

3. 在宅就労への支援

- 1) テレワークの可能性についての広報、啓蒙
 - － セミナー実施(事業主、職業カウンセラー、HW担当者等々)
 - － テレワーク研修実施(特別支援学校生徒、リハセン PTAの方)
- 2) 受講者の支援データベース活用
 - － 精度の高いマッチングへの記録
- 3) 職域・事業主とのマッチング
- 4) 事業主への在宅勤務前後のフォロー

●特別支援学校との連携

▼テレワーク研修と、支援機器の見学実施

機能障害としては重度の生徒が多くなっている。

しかし、働く可能性と障害は連動しない。

「入力は視線で」、「聴覚はスマホで」、補える方法は次々と。

テレワークなど「就労」の幅広いゴールを理解したところで、生徒の顔は輝き始める。

希望者には、

支援機器の見学や相談も実施。

●テレワークに大事なことは……



?

Excel? Word?

それも大事

でも、ExcelやWordは筆記用の「道具」です。
「テレワーク」を含め、自分が満足できる仕事をするには、大事なものは道具ではなく、
道具を使う「あなた自身がどんな人」であるか。

●修了生のテレワーク昨今の採用例

基礎的学力で可能な作業から、
一定の学習や経験の積み上げが必要な作業まで多様に

- WEB関係

- クリエイト、HTMLの編集
- リサーチ
- SNS・クチコミサイトパトロール、コラム

- 事務処理系

- 書類作成、集計業務、文書管理

- ICT活用系

- ヘルプデスク
- ドキュメント制作

- プログラミング、データベース

等

[ホーム](#) > 在宅就労事例

■ [サイトマップ](#)

■ [お問い合わせ](#)

> [ホーム](#)

> [事業のご案内](#)

> [在宅就労の実例](#)

> [機関紙「トライアングル」](#)

> [協力企業・団体](#)

> [事業所案内/地図](#)

障害のある方の在宅雇用・フリーランスの事例データベース

ここでは、「トライアングル」に掲載された在宅雇用・在宅就労事例をピックアップしています。

掲載日	就労形態	勤務先	仕事内容	障害名
2018.07	在宅勤務	社会福祉法人東京コロニー 職能開発室(東京都障害者IT地域支援センター 所属)	メールでの相談対応、メルマガ作成	筋ジストロフィー1種1級
2018.03	在宅就労	社会福祉法人東京コロニー 青葉ワークセンター(就労継続支援B型 在宅就労)	主として事業所の工数計算(エクセル)	脊髄性筋萎縮症1種1級
2017.07	在宅雇用	株式会社NECソリューションイノベータ	主としてCSVの情報発信	関節リウマチ
2016.03	在宅雇用	社会福祉法人東京コロニー	WEBデザイン、イラスト	筋ジストロフィー
2015.11	SOHO	-	書類作成	脊髄性筋萎縮症
2015.03	在宅雇用	あらた監査法人(PwC Japan)	アプリケーション開発	頸椎損傷
2014.11	SOHO	有限会社 YPP (業務委託)	リサーチ業務	筋ジストロフィー
2013.07	在宅雇用	株式会社シーイーシー	社内報の電子書籍化 労務関係の実務	頸椎損傷
2013.03	在宅雇用	B株式会社(IT関連会社)	リサーチ業務/IT関連の情報収集業務	多発性硬化症/視覚障害
2012.08	在宅雇用	株式会社インテリジェンス・ベネフィクス	WEB制作	両股関節機能障害
2012.07	在宅雇用	株式会社TBSテレビ	番組考査	筋ジストロフィー
2012.03	在宅雇用	ヴァイタル・インフォメーション	人事、総務、情報システム等	体幹機能障害

在宅就労チームにおまかせを!

es・team

TOKYO **itc** 東京都障害者IT地域支援センター

社会福祉法人 **東京コロニー** TOKYO COLONY

4. 在宅で働くことの主な課題

- ◆「テクノロジー」の個別適合、カスタマイズの課題
様々な労働効率を上げる支援機器。
個別の機器のカスタマイズや評価の保障が急務。

- ◆就労時に公的ヘルパーが利用できない課題
障害者総合支援法では、公的ヘルパーは、
経済活動（労働時間）に対しては使えない。
「労働」か「福祉」かの選択を迫られる問題



●参考 就労とヘルパー利用実態緊急調査（全障テレネット）

就労中あるいは公的な就労支援事業の利用中における、訪問介護サービス等の利用実態について、緊急に状況収集（2017.8）

ヘルパー利用ができないため就労を諦めている人や、家族負担となっている方、危険と隣り合わせの方などの状況が見えてきた

○ 就労とヘルパー利用実態について 全障ネット事業所 緊急調べ

		現在の就労形態	主な業務	障害・疾病等	障害等級	現在の対処	就労中必要なサポート概要 (該当番号を選択)	その他
1	Aさん	フリーランス	Web制作・プログラ	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	⑦	家族不在の時は単独になっており危険である
2	Bさん	フリーランス	写真加工・イラスト	筋ジストロフィー	1種1級	入院	⑦	家族が病気になる現在は病院に同行入院中
3	Cさん	フリーランス	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	⑦	ヘルパーが入らない曜日・時間帯を調整し、就労移行支援を利用していた。就労中のヘルパー利用が可となれば、就職の可能性あり。
4	Dさん	フリーランス	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	⑦	就労中のヘルパー利用が可となれば、就職の可能性あり。
5	Eさん	一般雇用	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	⑥	病状の進行により就業中のヘルパー利用が必要と考えられるが、企業側はヘルパー利用中は雇用しない就業形態を考えていく予定。
6	Fさん	就労移行 (利用終了したところ)	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	①②③④⑥	父が自宅にて対応。父は仕事を自宅近くの夜勤勤務に転職した。(ヘルパー利用する場合、訓練・就労が制約されるためヘルパー利用していない)
7	Gさん	就労移行 (利用断念)	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	ヘルパー利用	⑦	24時間ヘルパー利用しているので、就労移行支援を利用できなかったケース
8	Hさん	一般雇用	デザイン	筋ジストロフィー	1種1級	家族介助	①②⑥	大学勤務。ヘルパー利用ができないため、妻がパートを減らし対応。
9	Iさん	A型雇用	プログラミング	脳性麻痺	1種1級	家族介助	①③⑥	現在は家族(母)がサポートを行っているが、今後は難しくなる可能性があり、雇用継続が危ぶまれている。
10	Jさん	A型雇用	Webデザイン	筋ジストロフィー	1種1級	ヘルパー利用	⑦	一人暮らしのためそのすべてを公的介護や看護に依存している。就労中はやむを得ず私費でヘルパー手配(暫定的に事業所が負担)。

▼就労中必要なサポート

- ① トイレ介助
- ② 姿勢の調節
- ③ 給水やエアコン調整
- ④ PCまわりの環境設定
(キーボード位置決めなど)
- ⑤ 呼吸器などの装置関連
- ⑥ 非常時のサポート
- ⑦ 上記ほぼ全て

● テクノロジーと制度は両輪。

「福祉」か「医療」か「労働」かの時代ではなく、
「福祉も医療も労働も」。
誰もが自分仕様の「ディーセントワーク」へ

▶ テレワーク事例 等

<http://www.challenge.jeed.or.jp/index.html> (高齢・障害・求職者雇用支援機構)

<http://www.tocolo.or.jp/syokunou/triangle/jirei.html> (東京コロニー)

<http://www.japan-telework.or.jp/> (日本テレワーク協会)

2019. 2 社会福祉法人東京コロニー 社会福祉士 堀込真理子
horigome@tocolo.or.jp

Tel: 03-6914-0859 Fax: 03-6914-0869

[Http://www.tocolo.or.jp/syokunou/](http://www.tocolo.or.jp/syokunou/) 26